

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会 第2部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	防災意識の醸成・地域防災力の向上
事業目的・概要	防災意識の醸成・地域防災力の向上を目的とした講演会・ワークショップを企画し実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【令和6年度実施事項】 ○防災講演会～地震発生初期からの避難所運営について～1月1日西区で何がおきた！ ・実施日 令和6年11月15日(金) ・参加人数 130名 ○防災ワークショップ ・実施日 令和6年11月15日(金) ・参加人数 27名 ○地震アンケート ・アンケートの結果まとめ
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○第2部会は、地域コミュニティ協議会からの選出者のほか、社会福祉協議会、防災士、地域教育コーディネーター、区内専門学校の学生などから構成され、「協働／子育て・教育／健康・福祉／防災・防犯／生活環境」を所管分野としており、部会を構成するメンバーの中で防災士や防災に携わる者が多いことに加え地域の関心も高いことから、「防災」をテーマとして取り組んだ。 ○能登半島地震を受け、地域防災力向上の目的で開催した防災講演会については、講師を新潟市防災士の会会長である平井孝志氏に依頼し、能登半島地震発生時の西区の状況やボランティアセンターでの活動の様子、新潟市における津波の浸水情報などを講演していただいた。 ○なお、集客のため地域活動功労者表彰式との同日開催とし、各施設でのチラシの設置や全区の防災士へのメールによる案内、区だよりや区ホームページでの広報を実施した。 ○防災ワークショップについては、各コミュニティ協議会2名以内で事前に参加を募り、「避難所運営のあり方」「地域ごとの災害リスク」「これからの防災訓練」の3つのテーマで4グループに分かれて行った。なお、各グループにタイムキーパーとアドバイザーに中央区総務課の防災担当職員を配置するなど、限られた時間を有効に活用するための工夫を行った。 ○地域間での防災対策や課題の共有など、今後の防災活動にいかすことができる活発な意見交換が行われた。また、今後の防災活動の参考となるようワークショップの内容をまとめた資料を区内の全コミュニティ協議会に配布した。 ○講演会・ワークショップの効果を高めるために行った「能登半島地震の対応に関するアンケート調査」を通じて、見えてきたことをまとめた。 ○今回の防災講演会・ワークショップの開催によって各参加者が自治会・町内会、コミュニティ協議会に情報等を持ち帰ることにより、地域における防災活動をより充実させる機会を創出できた。
備考	